

まちづくり



〈生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）〉

生活支援の担い手の養成やサービスの開発をコーディネートし、高齢者の求めるサービスと生活支援などを結びつける役割をします。また、生活支援体制整備協議体と共に活動し、その活動を支えます。町では、令和6年度から社会福祉協議会の野口恵子さんに代わり同協議会の石澤克美いしざわかづみさんに生活支援コーディネーターを委嘱しています。



石澤克美さん

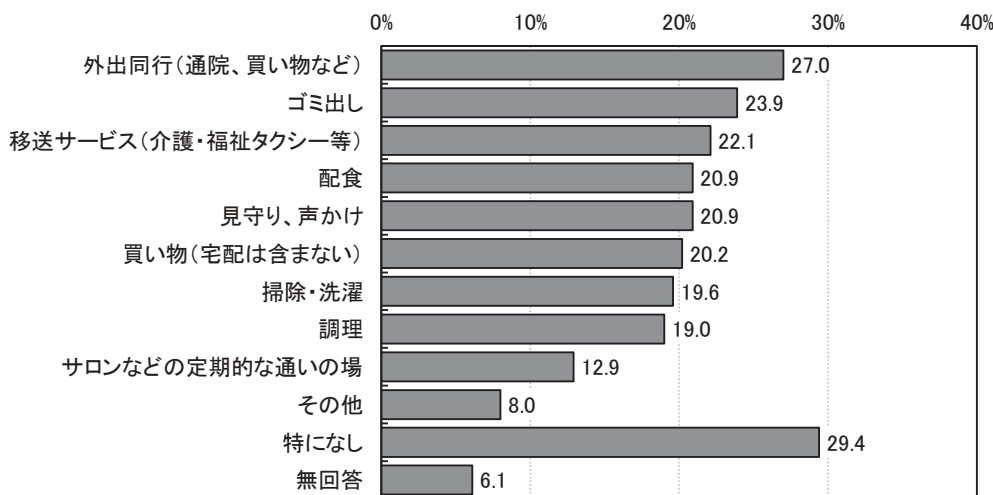
〈地域包括ケア推進会議〉

医療・福祉等の代表を委員とした地域包括ケア推進会議を実施し、町がどのような課題を抱えて、どのような対策が必要なのか話し合いました。

◆◆ 令和5年度に話し合われた課題 ◆◆

令和4年度に65歳以上で在宅の要支援・要介護認定を受けている方を対象に実施した在宅介護実態調査の結果によると、在宅生活の継続のために必要な支援について、外出同行に続いて多い回答はゴミ出しです。令和5年度の会議では「ゴミ出し」問題について話し合いました。

【今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス】



出典：令和4年度在宅介護実態調査

ゴミ出しは、元気なときには容易にできますが、高齢になると困難になる家事の1つです。足腰の衰え、分別の難しさなど、理由は様々です。ゴミ出しは収集日の朝に行わなければならない、ヘルパーでの対応が困難になる支援内容でもあります。会議では、ゴミ出し支援に関するサービスの充実と、近隣の人々の支援と理解の必要性について意見が出ました。

生産年齢人口の減少が予測される中、今後はさらに「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、ひとりひとりが役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことが大切になってきます。普段から近所で声を掛け合い、支え合えるまちづくりにご協力ください。

